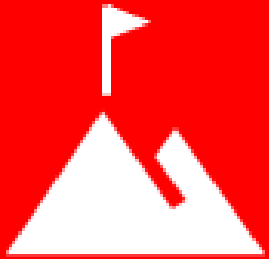


渋谷本町学園 9 の特色ある取り組み

1 目標を  
共有しよう



2 より  
深く学び



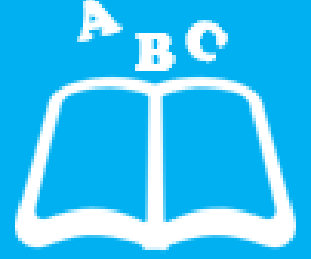
3 交流の輪を  
広げよう



4 魅力ある  
部活動を



5 Let's Enjoy  
English!



6 3つのブロックで  
学び



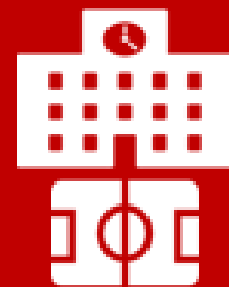
7 みんなで  
育てよう



8 本町愛を  
育てよう



9 施設を  
活かそう



SHIBUYA  
HONMACHI  
GAKUEN  
G  ALS

渋谷本町学園の  
「特色ある教育活動」  
をまとめました

9Gとは渋谷本町学園が小中一貫教育校として特色ある教育活動をこの先もずっと充実・発展させていくための目標です。開校10年を機に、目標・学力・交流・英語教育など9つの分野の目標を掲げ、学校・家庭・地域等あらゆる方々が協力して達成を目指します。



1 目標を共有しよう



渋谷本町学園の育てたい児童・生徒像を学校・家庭・地域等が共有し、9年間で個性を尊重しながら育てていきます。令和3年度、誰もがわかりやすい教育目標にリニューアルしました。

### 教育目標

- かंगाえる **Creativity**
- 心ゆたかに **Empathy**
- たくましく **Determination**

### 目指す学園像

主体性の育成と魅力ある学園

### 目指す児童・生徒像

- ・夢をもち、進んで学ぶ元気な子供  
(確かな学力・育ち合い)
- ・思いやりをもち、  
心をひらいて笑顔で挨拶をする子供  
(豊かな心・助け合い)
- ・自信をもち、  
互いの良さを知り共に生きる子供  
(健やかな体・認め合い)
- ・地域に誇りをもち、  
地域を支えようとする子供  
(自己有用感・郷土愛)

### Qなぜ、このターゲットが必要なの？

小中一貫教育校だからできる9年間を見通した活動には無限の可能性があります。その中で最も大切なことは、渋谷本町学園にかかわる人が同じ目標を共有し、その目標に向けて努力することです。

### Q 地域・保護者と共有するわけは？

教育目標や各種目標を地域・保護者・学校運営協議会とともに共有し、協働して進めることで、教員の異動にかかわらず、小中一貫教育校としての特色を持続可能とし、地域に根差した教育活動を進めることができます。

### Q 確かな学力の定着のために、どのような取組をしていますか？

- ★渋谷本町スタンダード：学習の基盤を整え、学習に向かう気持ちと態度を整えます。
- ★渋谷本町学園スタイル：分かりやすい授業の流れを作り、児童・生徒が積極的に授業に参加できるようにしています。



### Q 知徳体の取組は？

毎日の授業の中で「分かる・できる・楽しい」と感じる学びを大切に、心と体の健康と互いに認め合える集団、一人一人の良さや特徴を理解し、協力して学校生活を送る集団を目指します。

しほやほんまち  
**渋谷本町スタイル** かくしゅう なが  
～学習の流れ～

- 1 **めあてをつかむ**
- 2 **基本的なことを知る**
- 3 **自分で考える**
- 4 **みんなで学び合う**
- 5 **学習を振り返る**



2 より  
深く学ぼう



**【50分授業】** 5・6年生は通常45分を50分授業で授業内容を掘り下げ、定着を図ります。  
**【教科担任制】** 中等部から一部教科で教科担任制を導入し、より専門的に学びます。

### 【50分授業（5・6年）】

通常に加え約2,500分多く学べます。1時間5分×授業時数500→これは通常45分授業で換算すると約50時間分です。一人一人の考える時間が増え、基礎の定着や、発展学習にも充てていきます。5年生は後期から50分授業を行います。

### 【教科担任制（5・6年）】

5・6年生では、音楽・図工・理科・家庭科を専科教員、英語はALTとTTで実施、さらに中学校の教員が専門性を生かし、小学校の授業を行う時間もあります。教科の専科教員が指導することで児童の学習意欲が高まります。

#### Q なぜ50分授業なのか？

学習指導要領では「主体的・対話的な学びで深い学び」が重要視されています。プラス5分で苦手分野の克服と、得意分野の伸長を図ることができます。

#### Q 教科担任制の良さは？

専門性のある教員が指導することで、児童の学力が向上します。複数のクラスを担当することにより、児童に合わせて指導を行うため、教師側の指導力向上にもつながります。また、複数の教員で指導に当たることで、一人一人の児童の良さを多面的に把握できます。担任以外の教員とも気軽に話ができるようになり、児童が新しい学習形態に慣れ、中1ギャップの解消にもつながり、7年進級時の戸惑いを減らします。

#### Q 教員同士の学び：専門性を磨く（図工・理科・英語）学びの系統性は？

研究部を中心として、小中の教員が9年間の学びの系統性について、相互に研修を積んでいます。

#### Q 少人数指導は？

算数の習熟度別学習を3～6年で、英語と数学の少人数指導を7～9年で行っています。一人一人の理解度に合わせ、ていねいな指導を行っています。

#### Q 学習の補充はどのように行っていますか？

A 渋谷区独自の学習支援体制で「土曜日・放課後学習クラブ」で通称「まなび〜」で、週に1回程度、放課後に指導者が基本的な学習のフォローをしてくれます。





渋谷本町学園では6歳から15歳までの子供が生活しています。  
小さな子は大きな子の姿を見てあこがれを、大きな子も自尊心を  
もつようになります。  
通常学級と特別支援学級の交流も進めています。

### 交流活動の例

#### 【9年生と1年生】

タブレット端末に初めて触れる1年生に、9年生が操作の仕方を教えています。

#### 【6年生と1年生】

入学式の翌日から、朝の支度など学園生活の流れやきまりをていねいに教えます。

#### 【E・F組と在籍学級の交流】

実態に応じて、在籍学級の朝の会や授業に参加しています。

#### 【運動会】

初等部の運動会を中・高等部が運営するなど、学年を超えて、行事に取り組んでいます。

#### Q なぜこのターゲットが必要なのか？

多様性を認め様々な人とかかわる力を身に付けることはグローバル社会において必要不可欠です。また相手を思いやる心の育成は学校においても重要な役割です。意図的・計画的に交流活動を推進し、心ゆたかな子供を育成します。

#### Q 交流で活動するとどのようなメリットが生まれるのか？

A1 異学年交流…下学年にとって、身近に自分のモデルとなる存在が9年生までいることとなります。「あのようになりたい」という思いが、自分を成長させる原動力となります。

A2 在籍学級との交流…交流の中で行われている子供同士の付き合い方や、折り合いの付け方などを伸ばし、「共に生きるための力」を日常生活の中で育んでいきます。

#### Q 学校行事での取組はどうなっているのか？

A 運動会に向けての取組として、表現運動の教え合いを行っています。対面での活動だけでなく、タブレット端末を活用した交流も盛んです。また、令和3年度より「本町つなぐプロジェクト～学園に伝えたいこと、残したいこと～」を開始しました。学習の成果を発表する場面で、交流活動を取り入れることにより、児童生徒の達成感や自己有用感をより一層高めていきます。

#### Q 今後はどんな取組をするのか？

A 縦割りグループやピア・サポートを導入し、学習やいじめ解消のための交流を図り、安心した学校生活を目指します。





## 4 魅力ある部活動を



渋谷本町学園では5年生から中学生と一緒に部活動に参加することができます。入部は任意ですが、毎年約30%の5・6年生が活動しています。中学生は80%以上が参加しています。

### 渋谷本町学園の部活動

[対象生徒]◎男女 ●女子 ○男子

#### <運動部>

○野球部

◎サッカー部※

◎陸上部

●軟式テニス部

◎バスケットボール部

●バレーボール部

○卓球部

#### <文化部>

◎吹奏楽部

◎美術部

◎英語部

※サッカー部は渋谷区合同部活動の拠点校に指定

#### Q なぜこのターゲットが必要なの？

学校生活は学習だけではなく、学校行事や部活動によってさらに充実することができます。得意分野に早くから着手することで、充実した学園生活が期待できます。

#### Q 実際に活動している児童・生徒の声

[5年]はじめは体力も違う中学生と活動するのに不安があったが、すぐに慣れて楽しいです。

[6年]私は5年から入部しており、先輩とプレーできるのがとても嬉しいです。中学でも絶対にやります！

[7年]中学生になると責任も出てくるので充実しています。

[9年]5年間活動できることに感謝です。ガッツリ活動できて大満足です。高校でも続けていきたいです。

#### Q 主な活動成績は？

A 5年生から陸上部に入部し一生懸命に練習した生徒が令和3年度全国大会に出場しました。

また、小学校の鼓笛隊と連携し、吹奏楽部では東京都コンクールで銀賞を受賞しました。

小学生から継続して取り組むことで顕著な成果が表れます。

#### Q 渋谷区部活動改革プロジェクトのサッカー部の拠点校とは？

A 令和3年度、サッカー部を復活させました。また、サッカー部の渋谷区合同部活動拠点校として週に1回程度、渋谷区内の他の中学生と、ALL Shibuyaとして本校で活動しています。実績のある指導者からレベルの高い指導を受けています。



5 Let's Enjoy English!



渋谷本町学園は渋谷区英語教育重点校に指定され、3名のALTが常駐する大変恵まれた学校です。

「英語を使うことが楽しい」と感じ、英語で考え、英語で発信できることを目指します。【わくわく×どンドン×すらすら】

#### 【3人のNativeが常駐】

休み時間や給食もALTの先生とふれあい、自然なコミュニケーション力が身に付きます。

#### 【CLIL:内容言語統合型学習】

英語以外の教科の一部を英語で学習する方法で21世紀型グローバル社会において必要な力を身に付けることが期待されています。英語を使って、思考力を高め、仲間と協力しながら英語以外の教科等を学んでいく時間です。

学園では3S[Soft Small Smart]CLILを導入しています。

例：8年理科の天気図の学習で、基礎を日本語で学んだあと、ALTと一緒に英語で天気予報する学習。【理科×英語】

#### 【English Friday】

毎週金曜日は、ALTだけでなく、先生も子供も英語で挨拶をし、簡単な会話も英語で行います。英語を使う環境に慣れ、自然と笑顔が増えます。

発達に応じてNativeによる読み聞かせや朝と帰りの会を英語で進行します。

#### Q なぜこのターゲットが必要なのか？

英語で多様な人々とコミュニケーションを図り、グローバル社会で活躍することができる基礎的な英語力を育成することが求められる中、小中一貫教育校として9年間で日常的に使えるコミュニケーション能力の育成を目指します。

#### Q 渋谷区英語教育重点校としての方向性は？

★広く国際社会において信頼と尊敬を得られる人材の育成★

- 1 英語教育を「国際理解教育の推進のための英語教育」と位置付け、英語をツールとした異文化理解・日本の伝統文化の再認識・人権尊重の育成に取り組みます。
- 2 コミュニケーション手段としての英語能力の向上を図る目的で、英語以外の教科についても積極的にALTを活用します。
- 3 日常生活の中でも英語に接する環境をつくり、生徒の英会話能力の向上を図ります。
- 4 小学校との連携を深め、小学校1年生から9年間を見通した英語教育の充実を図ります。

#### Q 学校生活ではどんな取組をしているのか？

A 学園の校歌には英語バージョンがあり、誇りをもって歌います。また左の取組に加え、運動会での英語の応援や校内の英語掲示物など自然と英語に親しむ工夫をしています。

#### Q 英検は？

A 6年生は英語の学習到達度が確認できる「英検ESG(R3年度)」で団体最高レベルを獲得し、そのうち約半数が最高スコアレンジでした。日常的な取組の成果の一つです。  
9年生の取得率(R3年.12月) 3級：約50% 準2級以上：20%





渋谷本町学園では、9年間で次の3ブロックに分けてきめ細やかな教育活動を行っています。  
初等部：1～4学年 中等部：5～7学年 高等部：8～9学年

ブロックで身に付けたい力

【初等部～定着～】

個に応じたていねいな指導で、学習・基本的生活習慣の確立を図り、基礎・基本を定着させます。

【中等部～充実～】

教科担任制等で基礎・基本の徹底を図るとともに、それを応用する力を育てます。

【高等部～発展～】

学んできたことを活用しながら、生徒の個性・能力を伸ばし、地域・社会に貢献する力を育てます。

義務教育修了までに、学力と生活力を育成し、自己実現と社会貢献の基礎を一貫してつくり上げます。

Q なぜこのターゲットが必要なのか？

A 子供たちの心身の発達段階を踏まえて、9年間を見通した学びの系統性の中で授業や教育活動を行うことにより、義務教育修了までに自己実現と社会貢献の基礎を一貫して作り上げることができます。  
また、多様性を認め様々な人とのかかわる力を身に付けることはグローバル社会において必要不可欠です。また相手を思いやる心の育成は学校においても重要な役割です。意図的・計画的に交流活動を推進し、心ゆたかな子供を育成します。

Q 3ブロックで何をやるのですか？

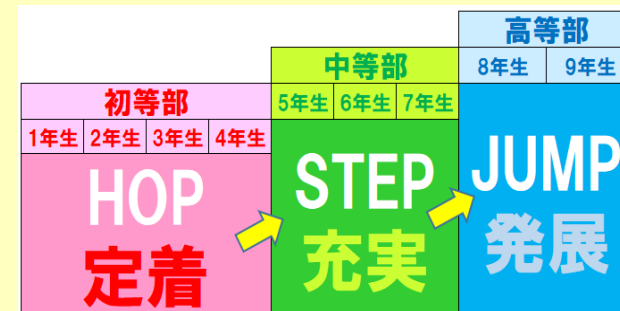
A 3ブロックの子供たちに伝えることや求めるものは違う場合があります。そこで、月に一度ブロック朝礼を行い、各ブロックの意識を高めます。また、運動会をはじめ様々な行事もブロックに分かれて行います。

Q 中1ギャップへの対応は？

A 5年生後期から、50分授業や教科担任制を少しずつ取り入れています。  
また、中学校の教員による授業も行うことで、徐々に中学校の生活スタイルに慣れ、スムーズに進学できるようにしています。

Q 保護者・児童生徒の声は？

A1 初等部を4年までと区切り指導してくださったことで、初等部最高学年としての自覚が芽生え、責任感が増し、充実した学校生活を送る事ができています。  
A2 例えば、学習面やいじめ問題解消のために小中一貫の良さを活かした児童・生徒の縦割り交流に期待しています。





7 みんなで  
育てよう



1～9年で約800人以上の子供が集う渋谷本町学園は区内最大の大規模校です。通常学級に加え、特別支援学級（小学校:E組 中学校:F組）があり、共生の精神を多くの人たちで育みます。

子供を支える方々

- ①学校運営協議会
  - ②スクールカウンセラー
  - ③学校医
  - ④時間講師
  - ⑤特別支援学級補助員
  - ⑥特別支援教室専門員
  - ⑦特別支援教室巡回指導員
  - ⑧学校図書専門員
  - ⑨学習指導員
  - ⑩介助員
  - ⑪スクールサポートスタッフ
  - ⑫警備員
  - ⑬放課後クラブスタッフ
  - ⑭児童安全誘導員
  - ⑮まなび～指導員
  - ⑯スクールソーシャルワーカー
  - ⑰警察：スクールサポーター
  - ⑱フォロースタッフ
- その他にも支援者がいます…

Q なぜこのターゲットが必要なのか？

A 学校は本来、児童・生徒理解を踏まえ、学習や特別活動等を通じて豊かな人格形成を目的としています。昨今、様々な課題に対応するため、様々な専門職と学校と家庭が連携して子供の特性を生かした教育が求められています。

Q 小中一貫の良さは何か？

A もともと小・中別々に配置されるスタッフが混在することで、より多くの人材がかかわることができます。例えば、スクールカウンセラーは3名配置され、相談しやすい環境が整っています。中学校進学後も、小学校から円滑に連携ができます。

Q 特色ある取組は？

A 6年生対象の「本町寺子屋」では各方面で活躍される方々によるキャリア教育を実施しています。また、本学園の卒業生が在校生に向けて高校受験や進路について講演する進路学習会も大変好評です。

Q 学校運営協議会はどのように関わっているのか？

コミュニティ・スクールの地域学校協働本部の機能を生かし、様々な外部人材（地域・保護者等）の協力を得て、以下のような取組を実施し学力向上を図っています。

- 漢字検定監督（年間3回）※数学検定や英語検定の監督も実施予定
- 職場体験（7年）○本町寺子屋（6年）○不動通りパレード（6年）



8

本町愛を  
育てよう

渋谷本町学園は昔から、地域と保護者にあたたかく見守られ、安心して過ごせる学校です。大好きな「本町」をもっと好きになるため、シブヤ科を通して地域を学び、将来を担う力を育てます。

○シブヤ科を通して、本町愛を育みます

3年：はたらく人々の学習

4年：水害や地震の学習

5年：福祉関係の学習

6年：本町地区の歴史学習

7年：本町の課題・独自性を認識する

8年：統計データを使って本町を分析しよう

9年：すべての人にわかりやすい情報を発信しよう

※地域と連携しながらゲストティーチャーなどをお呼びし、授業をつくっています。

○保護者・地域からの温かい支援

・入学式、卒業式にロゼットのプレゼント

・さまざまな地域行事の企画

Q なぜこのターゲットが必要なの？

地域で育ち、地域とかかわり、地域で生きていくには地域を知り、地域を愛する心を育てることから始まります。人とのかかわり方が難しくなってきた昨今、渋谷本町学園は地域と保護者が「子供のために」を合言葉に三位一体となって、豊かな子供を育てます。大人が真剣に子供を大切にすることで、子供も自分たちの町に誇りを持ち、地域を愛する心が育ちます。

Q 学校運営協議会とのかかわりは？

地元の学校応援団が教育活動を支援します。定期的に授業参観をしていただき、学校に対して意見をもらっています。

Q ロゼットって何？

渋谷本町学園に入学するとPTAの方々が真心を込めて作ったロゼットをプレゼントしてくれます。これをつければ元気120%!!卒業式では色違いのものを付けて卒業式に参加します。



Q 本町地区にはどのようなイベントがあるのですか？

7月：ラジオ体操、8月：盆踊り、9月：地区防災訓練・地域祭礼、10月：本町大運動会・北渋谷プロジェクト、11月：みんなで高尾山ハイキング、12月：学園フェスティバル、1月：しぶやニュー駅伝、2月：商店街鼓笛パレード、3月：本町まつり  
毎月定例の本町地区委員会・初台地区委員会に学校・PTAが出席し、地域との連携を図っています。



## 渋谷本町学園は2012年に新しくできた学校です。学校内は全館冷暖房完備で、大変快適な環境で学ぶことができます。

校庭：人工芝  
 教室：開放的な教室  
 木目調で落ち着いた壁や床  
 図書室：蔵書数  
 約2万3千冊  
 温水プール：地中熱を利用し年間  
 使用可能・区民に開放  
 武道場：柔道や卓球で使用  
 中体育室：B2F（避難所）  
 大体育室：B3F（避難所）  
 和室：茶道などで使用  
 地中熱利用システム：体育室棟の冷暖房  
 等  
 屋上緑地：校舎放熱  
 第2グラウンド：旧本町小学校跡地の  
 校庭と体育館を部活  
 動や行事で活用  
 統合前の歴史が詰ま  
 った校歴史

### Q なぜこのターゲットが必要なのか？

確かな学力を身に付けていく上で、子供たちが日々過ごす環境を充実させることは、大変重要な役割を担っています。校舎中央にある光の階段の吹き抜けは、明るさをもたらすだけでなく、全校児童生徒が互いを感じながら学習することのできる空間となっています。

### Q 水泳の授業は1年中行うのか？

体育の授業における水泳は、6月から9月にかけて行います。小学校のクラブ活動や水泳部、F組の学習では、1年を通してプールでの活動を行っています。

### Q オープンスペース型の教室はどんな感じ？

1～6年生の教室は、廊下側に仕切りのないオープンスペース型教室ですので、外から教室の雰囲気把握しやすくなっています。集中力が途切れるのでは…と心配になると思いますが、子供たちは、しっかり学習に取り組んでいます。授業の内容によっては、可動式のドアで廊下側全面を仕切ることもできます。

### Q 廊下のオープンスペースでは何をやるのか？

学年でのちょっとした話し合いの場として、また、児童・生徒の作品を飾って互いの成果を認め合う場として活用しています。休み時間や放課後には、教え合いや学びの場としても活用しています。

